



文化財クローズアップ

特別史跡



令和元年

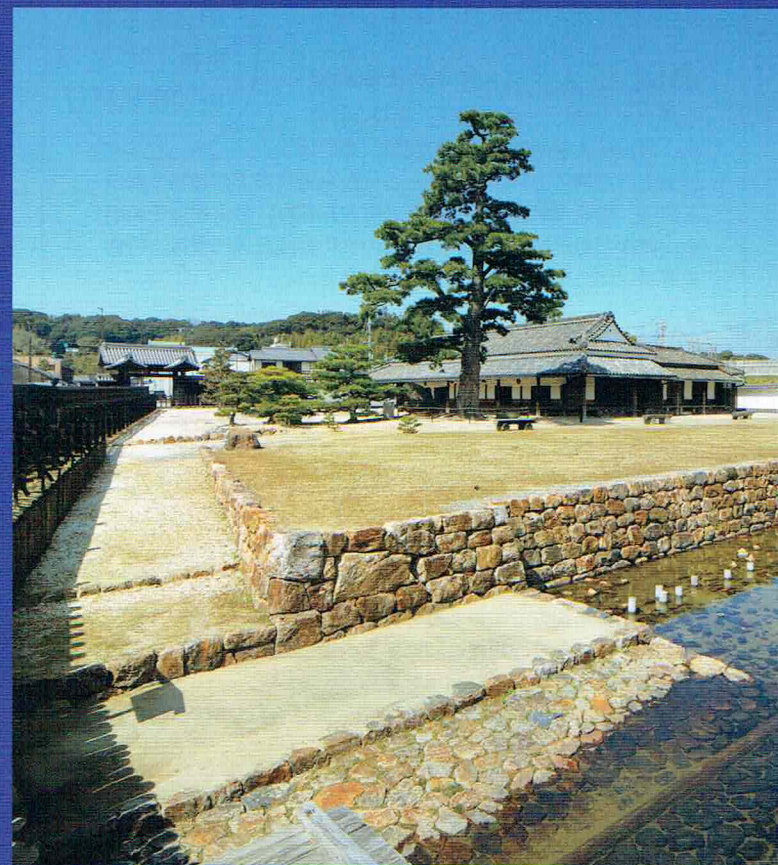
10月6日

日曜日

# 新居関跡

特別見学会

講演会



## 特別見学会 10:00 ~ 12:00

オリジナル通行手形発行

関所と復元工事現場の見学案内

関所改めの再現と様々な体験メニュー

■ きらく市 (露店屋台) 9 ~ 13時

■ オプションランチ 12 ~ 13時

浜名湖産うなぎを使った郷土食「ぼくめし」

場所: 国登録有形文化財「小松楼」(新居関跡の近く)

【会場】新居関跡 湖西市新居町新居 1227-5

JR 新居町駅から徒歩約8分

【参加】要申込み 先着50名 参加費無料

オプションランチは限定30食 税込1,000円

## 講演会 14:00 ~ 16:30 (受付 13:30 ~)

史跡整備と建築史の役割

- 価値の「見える化」のための建物復元 -

名古屋市立大学教授 溝口正人氏

旅人たちの息づかい

- 生き生きとした交通史の学習を創るために -

浜松西高等学校教諭 松井秀明氏

江戸時代の体感処 - 箱根関所 -

- 観光拠点施設 / 教育施設としての取り組み -

箱根関所長 大和田公一氏

【会場】新居地域センター 湖西市新居町浜名 519-1

JR 新居町駅から徒歩約15分、新居関跡から徒歩約11分

【参加】申込み不要 定員120名 (当日会場受付順) 参加費無料

特別見学会の参加申込み 9月9日(月) ~ 27日(金)

FAX かメールで以下を送付→受付の連絡をします

(氏名、住所、電話番号、当日の交通手段、)  
オプションランチの有無

静岡県文化・観光部文化局文化財課 共催: 湖西市教育委員会

【問合せ】電話 054-221-3169

【申込み】FAX 054-250-2784

Eメール bunkazai@pref.shizuoka.lg.jp



文化庁

記念物100年

写真... 関所の全景と屋敷 絵... 新川庄重「若井 渡島ノ図」東海道五拾三次 (新居関跡中料館所蔵)



重要な文化財にふれて、学んで、“ふじのくに”の歴史文化をたのしもう!!

### 特別見学会

10:00 ~ 12:00  
新居関跡

- ① オリジナル通行手形を発行します。
- ② 関所の建物や史料館、非公開放の女改之長屋の復元工事現場を見学し、関所の歴史と復元整備について解説します。
- ③ 関所改めの再現と体験、大御門の開閉体験、新たに導入する体験型アプリの先行体験ができます。

**要申込み**  
定員 50名  
参加費無料

※ 通常の関所の見学は申込みなしで可能ですが、入館料が必要になります。

#### ■ スケジュール

- 9:30 受付開始、オリジナル通行手形発行
- 10:00 集合、見学開始(グループで行動)
- 11:00 関所改め再現、各種体験(自由行動)
- 12:00 解散 ※散策用に文化財・菓子処マップを配布

#### ■ きらく市 9~13時 新居関所駐車場内

露店屋台で地元の食と物産を販売します。申込み不要。

#### ■ オプションランチ 12~13時

国の登録有形文化財である「小松楼」で、浜名湖産うなぎを使った郷土食「ぼくめし」(お吸い物付)を食べてみませんか?  
特別見学会の解散後に御案内します。



**要予約**  
限定 30食  
有料 税込  
1,000円

※ 特別見学会の参加申込みと合わせて予約してください。

● 参加申込みの方法などはチラシの表面を見てください

### 講演会

14:00 ~ 16:30  
新居地域センター

さまざまな分野の話から、新居関跡がもつ魅力にせまります。

**溝口 正人** 名古屋市立大学教授

博士(工学)、一級建築士。建設会社勤務、名古屋大学助手等を経て現職。専門は建築史。遺構と史料の分析から古代から近代までの建物や都市を研究。妻籠・奈良井・有松など町並み保存、名古屋城や美濃金山城など史跡整備に関わる。国の文化審議会専門委員。特別史跡新居関跡整備委員会建築専門部会委員。

**申込み不要**  
定員 120名  
参加費無料

**松井 秀明** 浜松西高等学校教諭

高校で歴史教育にたずさわるほか、湖西市で講座を300回以上つとめる。日本史や世界史の視点から地域史を評価する内容が好評。静岡大学人文科学部の「地歴教員養成講座」では教員志望の学生を育てる。『授業中継 エピソードで学ぶ日本の歴史3 近世への旅』地歴社(2012年)などの著作あり。

**大和田 公一** 箱根関所長

神奈川県箱根町で箱根関跡の保存と調査・研究に長年従事。NHKプラタモリの箱根の回にも案内役として出演。現在も復元整備された箱根関所の活用を進めている。

※ 箱根関は新居関とともに東海道に設けられた関所です。

#### ■ スケジュール

- 13:30 開場、受付開始
- 14:00 開会挨拶
- 14:10 溝口正人氏 「史跡整備と建築史の役割」  
価値の「見える化」のための建物復元
- 15:10 休憩
- 15:20 松井秀明氏 「旅人たちの息づかい」  
生き生きとした交通史の学習を創るために
- 15:45 大和田公一氏 「江戸時代の体感処—箱根関所—」  
観光拠点施設/教育施設としての取り組み
- 16:10 意見交換
- 16:30 閉会

### 特別史跡 新居関跡

江戸時代の東海道では、箱根と新居に関所が設けられ、人や物の出入りを取りしまり、管理していました。

新居関跡は、現存する建物をもつ唯一の関所跡であり、極めて重要な遺跡として大正10年

(1921)に国の史跡になり、昭和30年(1955)には特別史跡になりました。現存の建物の保護に加えて、そのほかの建物などの復元整備も進めています。



復元されている大御門と高札

